

優先順位の高いもの

魅力的な講座の実施	市民がどういうことに興味をもっているのか、調査が必要。機会をとらえてアンケート等を実施する。
市民が行きやすい・過ごしやすい場の提供	カフェ的なものがあるのか。
公民館コーディネーター・人材育成NPO	仕事はすべて人間力で決まると思う。人が大切
コワーキングスペース	中高生の学習スペース、時間帯を決めてフリースペース
PT、公民館運営委員会	
フリースペース	
コワーキングスペース	
企画運営委委員会の設置	
フリースペースの設置	ドリンクバーがあったり音楽が流れている
地域の居場所となる魅力ある公民館づくり	
人材育成・任用・活用	企業の活用、企業との連携
公共交通ルート	観光・公民館等をルートに加える
中間支援組織・法人化NPOが必要	公民館として市民育成、職員育成を兼ねて
公共交通と組み合わせて公民館の利便性を高める	
プロジェクトチームの創設	まちづくりの部局、生涯学習課、ふるさと創造会議と連携してプロジェクトチームをつくり、「人材育成」に向けたサイクル（システム）を計画し実行していく（その際、一社、NPOなどの実行部隊も必要）
学校・地域・企業の連携	
職員・ボランティアの育成	
公民館コーディネーター	
WI-FI	
人への予算の確保	
質の高い人材育成	
幅広い人が集う公民館	
公民館運営に必要な経費の確保	
運営していく組織の育成	
多くの世代が利用できる場の設定	
地域の居場所となる公民館づくり	
豊かな地域、人づくり	

特に重視すべきこと

広報	公民館の内容を市民があまり知らないのでは？ 魅力的な講座をうまく広報活動を実施していくのが良い。
公民館間の連携による運営体制	今の公民館職員の数では、いろんな新しい企画を実施していくのに限界があると思う。公民館全体での連携等を進めていくべきでは？
定期的なイベント	野菜市・子育て世代の不用品交換会
公民館の交流	コミバス利用で公民館まつりに他の公民館のグループ（1～3G）が出演する。
コーディネーター・プロフェッショナルの登用・活用・育成	
VR公民館	
コミュニティバス	
施設の改修（可能な範囲で）	
自習室	小中高生の利用促進 将来的に公民館を身近に感じ、利用してもらえるように
遊具室	子育て世代の集まる場 子育て悩み相談
社会資源の利用、理解	財政面にプラスになるように
情報発信や公正な判断をもち対応できる人材・場所の設置	大きな施設でなくてもよい。
毎年1名、社会教育主事（社会教育士）の資格を取得させる	生涯学習課だけに限定することなく市役所の職員全体に対して、社会教育の考え方を身に付けるために。
フリースペースで、STEAMラボも活用した、これまでの活動に取られない、世代を超えた取組の実施	eスポーツ、自習室、情報発信室など
いつでも誰かがいて、交流できる場づくり	
利用者から運営側に、さらに世代を超えて（人が）循環する	
オンライン相談窓口	
ひきこもり、不登校対策	
公民館コーディネーター	
プロジェクトチームの立ち上げ	
NPO等民間組織の運営への参画	
時代に即した公民館運営（ニーズの変遷）	
公民館活動をコーディネートする正規職員の確保・育成	
プロフェッショナル職員の任用と育成	
専門家の設置のための予算確保	公民館の運営・経営を支える予算確保
社会資源の活用	共生・協働の視点で、他力も頼る（借りる） 企業、自治組織（団体）、地域民など